

# 輝け！ 高生中

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学, 理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

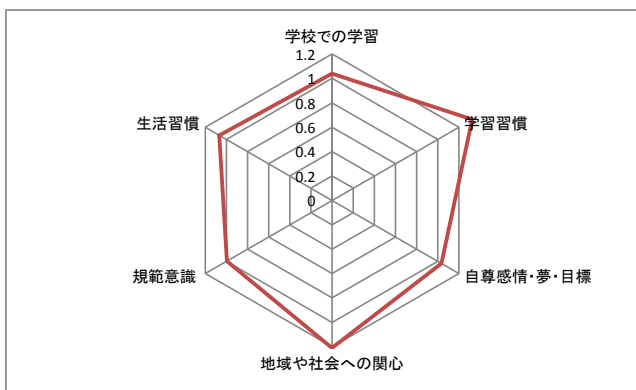
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	全国の結果と同程度の結果であった。読書が好きな生徒が多い反面、他とのコミュニケーションが少し苦手という本校の特徴が出ているようである。	同程度
国語B	全国の結果を上回った結果であった。言語についての知識理解が高いため、それを生かして書くことへ結びつけていけるとより一層の成果が上がると思われる。	上回っている
数学A	計算については全国同程度の結果である。今後は、図形や関数の問題への苦手意識克服を目指していきたい。	下回っている
数学B	図形以外は全て、全国の正答率を上回っている。問題を読み込む力(国語力)がいかされた結果であると考えられる。	同程度
理科	全ての領域で全国の正答率を上回っている。今後も継続した取組を進めていく。	上回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<b>成果</b> 学校での学習では、生徒の特性を捉えた指導法を各教科で実行することで、生徒の授業満足度の高い授業を創設できている。SSノートの取組などを通して、家庭学習の習慣が徐々に身に付いてきていると生徒自身が実感している。また、戸畑祇園大山笠などをはじめとする地域の伝統行事などに関心が大変高い点が特徴的である。教え合い活動の成果の一つである自尊感情の高まりが効果として表れてきている。
<b>課題</b> 規範意識の若干低い傾向にあるが、自分の行動を厳しくみることができているとも言える。家庭学習については、学校アンケートの保護者の結果との差異があるので、今後も課題を出すなどの取組を進めていきたい。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

学校全体の取組としては、教え合い活動などグループでの活動を今後も継続していきます。全国学力・学習状況調査の結果だけでなく、定期考査や課題考査の結果を踏まえて、弱点の克服に向けた手立てを進めていきます。また、昨年度の入試傾向に対応した力が身に付くように、職員研修等で授業での発問の改善に注力してまいります。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

ご家庭の関心も大変高いため、学校の教育活動に賛同し、熱くご協力をいただいております。ありがとうございます。今後も家庭学習の習慣づけについては、学校が宿題やSSノートの取組を進めていることを学校通信だけでなく、家庭教育学級やPTA理事会等でも紹介し、今後も連携した取組となるように啓発活動に取り組みまいります。また、小中連携を積極的に行い、情報共有を含めた体制づくりを推進いたします。